

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

月曜日は、台風11号通過のため休校でした。日曜日は昼頃からずっとテレビを見ていました。東側と山地区で雨の被害が多く報道されていました。先週は、フィリピンで920h pまで強くなったので直撃をしたらかなりの被害があるかと心配していました。風の被害も出て死者も出ていました。雨で土砂崩れや洪水でも村ごとの避難などの報道がありました。高雄市の桃源などは火曜日も仕事も学校もなしというテロップが出ていました。これからも「愛河の水位が上がった」という報道などを見て、現場には行かないようにしてください。心配なのは、水の処理をするためにどこかのふたをあけて、見えずに吸い込まれるとか、看板が飛んでくるとかの事故につながってくる可能性もあります。(テレビを見てると他の地区で下水のふたを開けて水の流れをよくしているのも映っていました。)興味深かったのは、台湾の予想+CNNと日本の気象庁の予想を両方やっているのです。特にCNNは台湾の被害の様子をアメリカで放送しています。日本のテレビはどうしていたのか不明です。台湾の気象のニュースは日本より雨雲がよく見えて、台風の風の向きも解説をして私にはよくわかりました。日本の本州は今日あたりからずいぶん12号の影響がありそうだと、今朝のNHKでやっていました。

8月30日(火)

雨がやはり降っています。学校そのものには被害はありませんでした。教頭も月曜に来て確認しました。風が吹き込んだ形跡もなく、金曜日に飛びそうなものはすべて片付けましたので大丈夫でした。ご家庭でも被害があった報告は聞いていません。

8月3日(水)

テレビでは台風の被害について報道をしています。雨が久しぶりにあがり、中庭では元気に動き回る1年生が見えます。(授業中) ペットボトルで何か水をまいているような・・・。

中学部朝会で、学校便りにも書いていたけどと前置きして、期末テストが2週間後にあります。以前、勉強は同じ所を3回はしなさいという話をしました。今回は、勉強の仕方がそれぞれあるはず、ということ話をしました。私は、中学の最初はとにかく授業や教科書などを新たにノートにまとめました。大変理解は進んだけど時間がかかり、やり方を変えたらとたんに成績が落ちた。息子は、ながめているとわかるタイプ。娘は何回も書いて覚えるタイプ、という話をしました。先生のアドバイスももらいながらはやくタイプを見つけて欲しい。という話をしました。

3分前に会場に行きました。しっかりならんでいました。立派です。

9月日(休)

日本や日本人学校では今日から学校が再開したところも多かったと思います。プールの練習に熱が入り頑張りすぎ？て具合が悪くなっている子どももいました。多くの子どもが熱が入っています。自分の記録に挑戦です。(月曜に1人1人の名前が入っているプログラムが配られる予定です)

9月2日(金)

台北と台中の日本人学校の教頭会が当校で開催されました。3校は同じ台湾にあり、共通の問題、対応すべきこともあります。(校長会もあります。)

4時間目に、中庭でなにやら5年生がビデオを撮っていました。日本の震災に関わってビデオレターを制作しているとのことでした。

職員研修で

夏休みの最終日に、高雄の80歳くらいの方をお呼びして話を聞きました。今年度より、2・28祈念日に学校を休みにしました。そこで、私たち教員は文献で勉強できます。その上で、生の声も聞いて学年に応じて意義を子どもたちに話をしていきます。その準備の一つとして実施しました。

話の話題は、自分がどうやって育ってきたのか、その時の日本や日本人との関わりについてでした。話は、戦争が終わって日本と国民党軍が入れ替わったところまでで時間切れでした。

講師先生は、もちろん日本語でお話をしてくださいました。日本語で原稿を書いてくださいました。『子ども時代を振り返ってみると、どうも自分は日本人だと思っていた。日本の兵隊さんは、すごくかわいがってくれた。それに、現代の台湾に日本の影響が大きいとも話をしてくれました。教育の問題、衛生の問題、交通機関や都市計画やいろんな施設設備の問題など、多くが日本時代から引き継がれてきているものだ。』との話でした。私たちの質問で「台湾人ということを意識している」「日本の統治時代は差別もあり、大人は感じていた人がいたようだ」という感じたことをお話してくださいました。

夏休みに入ってすぐに、職員全員で陳俄安さんの90歳の誕生日をお祝いに行ってきました。俄安さんから日本人学校の子供達、職員いろいろ学んでいます。

(高口) 正直、日本にいたときには台湾の情報が少なかったこともあるかもしれませんが、興味は薄いものでした。こちらに赴任が決まってから本を買いあさってきました。本で得られるものもありますが、生の体験、生の「歴史」(この場合、日本時代を生き抜いてきている人からの聞き取り)を感じることができます。霧社事件の映画も上映されるようです。

